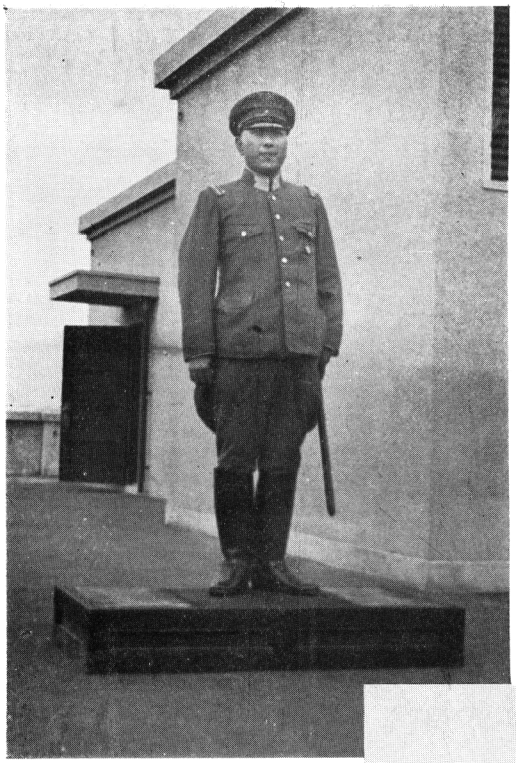
早稻田應用化學會報
第15卷第1冊第34號別冊

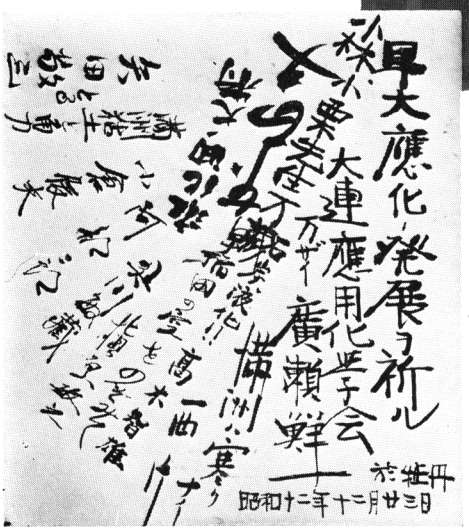
順　序

1. 教室消息
2. 先輩消息
   a. 九應會
   b. 青鈴會
   c. 群青會
   d. 十化會
   e. 十九人會
   f. 九四會
   g. 一一會關西便り
   h. 鴛水會
3. 學生消息
   a. 3 年生より
   b. 2 年生より
   c. 1 年生より
4. 應化寫眞研究會
5. 早帝應化對抗野球及庭球試合



出征前の石川先生

藤原銀次郎氏來校（應化屋上にて）



大連の集ひ

教　室　消　息

長らく歐洲視察に御出張中の武富昇先生は1月19日無事御歸朝になられました。御出發前よりも幾分肥えられて非常な御元氣で御歸りになり，直ちに2年の實驗を開始せられて居りますので一同大に恐縮し且つ喜んで居ります。先生の新歸朝談はいずれゆつくりと皆樣の御耳に入れたいと存じて居ります。

卒業以來拾數年の永い間小林先生の下に於て酸性白土の研究を續けられて居た山本研一先生は昨年7月理工學部教授會に學位請求論文を提出，同年11月の教授會を通過し，本年1月工學博士の學位を授與されました。之で教室も一段と光彩を添へた事となり一同慶祝して居ります。論文の要旨は本誌に揭載されて居ります。教室としても且つ又應化卒業生としても第1號の工學博士であります故意義深きものがあると存じます。

日野西資長先生は昔からの婚約が目出度く實を結ばれ金子武麿殿御夫妻の御媒酌で村井禎子孃と2月1日結婚，當夜東京會館に於て披露の宴を催された。新婦は惠泉女學院出身の才媛，村井家の令孃として容色絕佳，日野西先生は村井家に入り今後は電氣化學並に光化學の研究に大に努力せらるゝ由，切に新夫婦の前途多幸ならん事を祈る次第です。

秋山先生は3月下旬又は4月上旬東京發，朝鮮，滿洲方面並に場合に依り北支方面に迄視察旅行に出る事になりました。沿道の皆樣には色々と御世話になることゝ存じて居りますので此の紙上よりも御願ひ申上げて置きます。(編輯)

九　應　會　記　事

井上　　登君　新工場に益活動の由。

河原公之助君　更に有益なる發明に精進せらる。

籠宮　利光君　1月31日良緣を得て華燭の典を擧ぐ。

山澤　松男君　○○○に奮戰，出征中母君を喪はれたり。謹みて弔意を表す。

石田　武敏君　御再婚の由。

青　鈴　會　(第2回卒業生)

昭和12年11月上旬，九州の阪田貞臣君，所用にて上京せられ美馬君の案內にて澁谷の某旗亭に一夕集合した。集る者稻田，美馬，佐藤，原，長谷，山本(研)の諸君。阪田君には久し振りの者多く，會へば昔の如く談盡きず9時過散會。

同12月中旬，大連の石川君社用にて上京せられた。時恰も南京陷落祝賀當日とて筆者石川君を引き廻して二重橋から丸ノ內一圓を案內した。昔の江戶つ子安チヤンも今日此頃の丸ノ內，銀座邊の目まぐるしさには流石にマゴつく有樣であつた。クラス會は當夜中澤君の案內にて銀座の某料亭に行ふ。集る者中澤，稻田，原，山本(泰)，山本(研)の諸君。9時過ぎ散會。

尙門司の廣瀨君も昨年10月に上京。長谷，原君及筆者に會ひ退京せられた。在京の諸兄も皆變り無し。(13.2.2. 山本記)

群　青　會　(第5回)

これと言ふ程のフレッシユニユウスを持合せて居ないし又情報を洩らして與れる人もないので都ばなれのしたシンメルピルツの生えてる事をのせて許していただきたい。

今次の事變に際し大阪の渡邊治郎君は我等のトップを切つて勇躍應召せられ江南の野にて勇戰御奮鬪中である。同君の武運長久を祈つてやまざる處である。同君への通信は，上海派遣軍松井部隊佐藤部隊渡邊隊工兵少尉渡邊治郎宛，留守宅は大阪市外吹田町大日本麥酒會社々宅。軍籍にある石塚諄君其他は元氣にて銃後の御奉公中。

昨年初春歐米視察の途につかれし三島の渡邊薰君は所期の目的を十二分に達成せられ舊臘18日郵船秩父丸にて元氣にて歸朝せらる。伯林御滯在中は武富先生及び友田宜孝博士等と大いに本場のビールを飮賞せられたる由，一年の海外生活に依り別段面上の變化はありません。同君の近日御上京を機に親しく同君に物をきくの會を開催したいと思つて居ます。其ニユウスは次號をお待ち下さい。

昨秋9月20日東都防空演習解除直後久しぶりの群青會を佐野君の骨折で木挽町の三笠に催した。集るもの林(和)，河內，增田，佐野，坂田の5名，何れも元氣であつた。殊に佐野君は人一倍の大元氣で其道の權威者である。雨の銀座で會員の多幸を祈つた。

12月6日佐野君が社命により南洋，印度方面の視察旅行に上らるるとき同君の一路平安を祈るため河內君の骨折で神田の治作に小宴を催した。集るもの林兩氏，河內氏，福原氏，佐野氏であつた。此夜の發展模樣は報告の機を持合せざるを遺憾に思ふ。

大連の槇原氏，九州の川津氏，關西の山本，天野石塚の諸氏，名古屋の石田氏等何れも元氣との事で

す。横濱，東京近郊の者も皆元氣です。

三島の渡邊君の上京中を機として多忙の同君に一夕あげてもらひ1月 22 日新橋驛に集合の上日本橋の甚兵衞で本年最初の群青會を催した。集るもの渡邊，增田，井上，伊藤，坂田の6名，殘りの京濱在住者は社用又は病氣で缺席された。さて飲む程に醉もまわり卓上の肴をつつき乍ら朗かに歐米の事を拜聽した。同君も微に入り細に渉り親切丁寧に說明され一同益する處多大であつた。殊に人間味ある彼地の失敗談やら手柄談に 10 ヶの目と耳とが吸ひつけられて了つた。此次ぎに御出でになる人のためには非常に參考になる事と思つた。10時を過ぎる頃ほひ江南の地に奮戰中の渡邊治郎君に寄書して其御活躍を謝し武運長久を祈り漫步を銀座に運び麥酒を肴に渡邊君を堪能し 11 時過ぎ同君を下關行急行に托し殘る話は此次ぎに割愛し會を終つた。

佐野龍君は目下印度を視察中で 5,6 月頃歸朝の豫定。其時は同君に印度の釋尊の話でもきくのをまちませう。(坂田記)

十　化　會（昭和5年卒業）

每月 10 日の夜スキヤ橋際の日動畫廊喫茶室に集る事にしてゐる。大體顏ぶれがきまつてしまつた樣だが，常連の浦川，熊谷，石田，山川，神原あたりは夫々元氣で餘裕綽々と轉換期日本を泳ぎ步いて居る常連の中から我等の石川少尉を送り出したが，元氣で仙臺の隊に活躍されて居るらしい。好漢切に自愛を祈る。

亘漢松本の企劃院入りはビツグニユースだ。體に似合はぬ綿密な調査で重寶がられて居る。海軍技術研究所の富樫も時節柄非常に忙しいらしい。○○の○○を○○して居るらしいが會にも餘り出て來ないので○の中の事は○で判らない。油を賣つて金を溜めてる森平も商賣愈々熟心のハリキリかただ。石關は相變らず良心的に生活し良心的にレザーを造つて居る。

上羽が令孃を失つてから精神的に大分動搖したらしいが近頃再び昔の元氣な姿に安心してゐる。永らく病中だつた野田も小康を得て一家を持つたと云ふ話を聞いた。10日の夜に元氣になつた君の風丰に接し得るのも近きにありと樂みにしてゐる。靈肉共に傷いて腐りに腐つた武田が日本鑛業に入り，今新潟で各種ガソリンプラントの實習中であるが近く君が優秀なる創造的技能を示す新プラントが出現することだらう。是が最も大きな吾々の樂みだ。

岡部が長崎から德島測候所に變つた。多年の望で鄕里に還れたわけだ。草山には誰か倦怠期だらうなんて惡口を云つたが通り過ぎたか今は最も良きパパだと云ふ情報がある。又良きパートナーなりし加藤は技師として多忙すぎてか便りがない。朴から今年は年賀狀が來なかつたが事變で遠慮したなら良いが好漢元氣ならば便りを與れ給へ。

十　九　人　會

南京も，早や陷落した。正義の軍を進むる皇軍の向ふ處敵なく光輝ある我が大日本帝國の爲めに誠に慶賀に堪えぬ次第です。

此處に我が十九人會より斯る名譽ある聖戰に參加せられある勇士を送つた事を我等銃後の會員一同の大いに名譽とし又其の御苦勞を感謝する處です。曩に我が盟友に慰問方法の一助として慰問袋發送の件に關し早速御贊同下され會費御廻送下された各位に厚く御禮申上げます。早速第 1，第2回慰問品は發送しました。第1回分は栗田學兄が 10 月 31 日石家莊にて受取られました。其の節の元氣な便りの一部を拔萃して會報を以て御挨拶をさせて貰ひます。

「日々唯何とはなしに忙しく送つてゐます。お蔭樣で內地にゐる時よりは壯健な位で愉快に戰爭に從事してゐます。北支方面は概ね戰況も停止の形で上海も亦陷落とあるからには今にも歸れそうな氣持です慰問品を有難う御座ゐました。女の繪は（註，サンデー每日，週間朝日のものを云ふ）何でも綺麗に見えます。雜誌の表紙に見とれるとは誠に殘念ですが心境如何共爲し難しです。罐詰は珍らしい中味の爲めかまたゝくまになくなつて私共は賞味するまでは行きかねました。次の追送を鶴首する事にします。木村鐵道部隊の行動は時たま新聞にも出る樣ですがその記事中のどれかは我が橫濱部隊の話だと御想像下さい。(中略)惡いのは敵の飛行機に見舞はれ易い點で爆彈だけは全く仕末に困ります。高射砲などはどこにでもあるわけではありませんから我々は飛行機に對しては丸裸でゐるも同樣です。攻める事ならず唯攻められる丈けといふのは一番禁物です。十九人會の諸君には何卒よろしく御禮を申し傳へて下さい。

昭和12年10月31日　　於石家莊　栗田少尉」

以上の如きものです。目下は彰德に於て御活躍中です。

中島學兄は約1ヶ月教育を受け○○方面に出動する筈の處都合により召集解除になり家に目下ゐられ

ます。但し1ヶ月以上軍隊に居られたので慰問品を贈呈する資格ありと認め第1回分を贈呈しました。

松隈學兄は 10 月に御入隊になられた事は諸兄も其の御挨拶狀により御承知と思ふ。目下福岡縣若松市沖田，八幡照空隊松隈隊として御活躍中です。十九人會は同氏にも慰問袋を贈呈するに決し目下御留守宅に問合はせ中。

次に最近私の知れる範圍にある銃後の會員諸氏の御動靜に就いては。

石田學兄　發光塗料株式會社にて社長の秘書役として日，英，獨，佛語の翻譯其の他重要事項に關し御活躍の由。

西村學兄　今回帝國發明協會に新設せられたる實施援助部主任技手として資本家及び發明家との緣結びのお役目です。每日數十通の電話，手紙による申込みに大奮闘の由。諸氏も大いに御利用あられよ。

小倉學兄　大連稅關にて土地柄大いに本事變に關してハリキツてゐられます。

松岡學兄　立派な帝國在鄉軍人でゐられる氏は未だ名譽ある順番が廻つて來られず待ちあぐんでゐられます。町の軍人會の世話役で大多忙だそうです。

神津學兄　大元氣で人絹會社に御勤務です。

後藤學兄　一時上海に行かれた由，其處で敵飛行機の爆撃と便衣隊の危險に會はれ，大いに徹底的膺懲の必要を我等よりも一層痛感されてゐます。目下大阪にて御活躍です。

照井學兄　大阪方面の仕事は完成され，次の計畫に著手する爲め東京へ歸任，大多忙の由。

木村五學兄　本月中旬1週間程私用で上京せられました。例の通り大多忙にて仲々ゆつくり面會出來ず。1 時間程自宅で會つたのみ。相變らず大元氣，大氣焰，觀迎會を開らく餘裕もなく殘念でした。

參成學兄　南洋ロタ島にて大元氣です。今回の慰問方法發表の際は遙か萬里の波濤を越えて電報及び會費を御送附になつた事は大いに感激する次第です

彦根學兄　佐久間製菓株式會社より理研感光紙株式會社に御榮轉，御活躍中。

稲垣　東京市衞生試驗所より新設の榮養化學工業株式會社に轉じました。本社は醫療藥品，榮養食料品を製造する　目的とし目下は「ビーセット」(B. Z) なる榮養劑，之れは恩師藤卷博士の榮養學の結論より生じたもので其の效用は廣範で，喰ひ過ぎ，飲み過ぎには殊によろしい。一般の酵母劑其の他とは大いに異なり同日の比ではありません。御申込下されば供試品を呈上しますと。——以斯くの如くお役人から商人に轉向したので一寸廣告も未だ板につきません。今後もよろしく。

次に略式乍ら慰問品に關する會計中間報告をさせて貰ひます。

會費寄贈者氏名

石田，西村，小倉，後藤，神津，松岡，木村五郎彦根，參成，稲垣，以上 10 名

第1回慰問袋內容品名

レモンテイー，フルーツミツマメ，オゾ，氷砂糖ソーセヂ，森永ユデアズキ，防寒用サルマタ

第2回慰問袋內容品名

煙草(チエリー，ヒカリ罐入リ)，ココアー，甘納豆(榮太樓製)，黑飴(榮太樓製)，スタアー（映畫雜誌)，唐辛シ(防寒用)

寄贈金額　20圓（但し 10 名分)

支出金額

第1回　5 圓 34 錢(但し2個分運賃を含む)
第2回　2 圓 55 錢(但し1個分運賃を含む)
計　7 圓 89 錢

差引殘額　12圓 11 錢

目下の狀況に於ては戰線は益々擴大されんとしつゝあります。今後とも續々と慰問品を送りたいと思ひます。(稲垣記)

九　四　會　抄

會員 20 名を數ふれど，唯名あるのみ。謝恩會を最後に，唯の一度の會合も無く，會員上京の歡迎會も無く，二，三出征の勇士あるも送りたるは巷の行進曲のみ。會員夫々1人顧み，幹事會に出でず，會費を納めず，豈さもしきは支那人根性のみかは。

天に醫あり，由良，米山出征すと。兩勇士學窓にあるより心臟の柔かざるを以て名高かゝりし者，「トーチカ」心臟君を得て益々ふさわし。惜む，川田心臟居士內地にありて唯徒らに辨柄を粉にするとは。

村田幹事妻を得て四歲，愛らしきみどり子あり，別に不思議はなけれども，卓坊に子あるとは。

松田蒲田なる大野化學機械に舞ひ戻り，事變に逢ひキワ物をつくる。電話にて曰く「今〇〇〇を〇〇箇造りつゝあるよ」夫子二子あり，すべからく〇〇〇〇—〇をせよ。

畑山急がし，東京セロファン爲に黑き煙立ち昇り「シヤンクレール」の女子君を得てサンサめく。人形町の或る八卦見畑山の手相を見て曰く「來年は寅歲」ハーテ「娘よなぜ……」

佐藤都を去りて九州にあり。銀座戀しくば別府に

出でよ，街に美しき女子あり。女子かつての戀人に似てあれば「あれよ，あの子永しへに生きてあるよ」

莊布健在にして獨り蒙古を夢む。方様階級より昇段したればよき妻ありぬべし。

土井内夫婦相和し，井上戀人と相信じ，中野勉學自らを持す。

藤木新婚のホヤホヤにして惱み惱ますと雖も自ら限度あり。

茂呂，其の他大勢健在ならん。（青木）

一一會關西便り

戰捷の春を迎へ 1938 年は我々に取つて進展の年だと思ふ。關西のメンバーは昨年に引續き軍務に携はる者多く始終顔を向はすのは吉村，鎭目，久我，岡久等，嘉つちやんは此頃ちつとも顔を見せない。

前置きはさて置き多事多端な本年の先づ第一のトピックは何と云つても吉村氏のお目出度。去年の末押詰つてから服屋が勘定取りに來た時〃昨晩吉村さんが店へ見えはつてモーニングとオーバーと多服を一時に決めて行きはりましたぜ〃つて云ふんでさてはと思つて居た所，此間會つた時聞いたらやつぱりさうだつた。何でも久留米とか小倉とかの人で九州でも稀に見る美人ださうだ。同君の爲に慶賀の至である。

鎭目さん相變らず拇指が物を云つて居る。去年の暮アパートをやめて郊外に家を持つた。と云つてもムツターと一緒だ。Qは何うして居るのか暮からちつとも會はない。

正月の休には吉村氏も今年からスキーを始め，大山に行つたとのこと。今度もらつたら早速紀元節に滑りに連れて行くんださうだ。それからダンスを仕込んで云々と大した元氣だよ!!ダンスと云へば末次さんにしかられるかも知れないが鎭目さんも到々始めたよ!!〃君!!そんなターンは本にないよ!!〃てな具合。暮には僕と一緒に上林へ行つた。今度始めてなんだが二日目には丸池から四五回しか轉ばなかつた程の上達振だ。何しろコーチがいゝからね。上林では武井や應化の二年の連中にも會つて愉快だつた。

あとは關東側に讓るとしよう。（久我記）

鷲水會便り　（第17回卒業生）

卒業後最初にしてしかも輝やかしい戰捷の新春を迎へ鷲水會々員諸兄には益々元氣に各方面に御活躍の事と思ひます。

舊臘十一月廿日に在京會員の最初の懇親會を日比谷美松に催しました當夜は丁度防空演習の眞際中で街は完全に黒一色にぬりつぶされて居りましたが，倉敷をやめて燃料局のお役人になつた百武君，八月以來日石鶴見工場に勤めてすつかり横濱通になつた森下君，日本化學富山工場をやめ日本電線に入つた片桐君を始め久喜，坂口，今村，石川，球川，山田秋山，棚橋の十一名が集り相當盛會でした。在京會員は此他，古屋，森，大久保の三君にそれから十月に德山ソーダを止めて再び東京に返り咲いた池田君の四名で都會十五名になつたわけです。池田君は十二月から東京パームチット商會の大森工場に勤める事になり蒲田のアパートから毎日張切つて通つてゐる様です。

それから十一月下旬に久喜君が結婚しました。卒業後トップを切つたわけで在京會員を大いにひがませて居ります。

次に會員中今回入營された方々は次の通りです。

大西君，森　君—廣島電信隊　秋山君—中野電信隊

今村君，日下部君—習志野戰車隊　大久保君—千葉縣津田沼鐵道隊　古屋君—赤羽近衞工兵隊　宗方君—近衞歩兵第四聯隊

それで今月八日に之等入營なさる方々の歡送會を去年吾々が卒の時送別會をしてもらつた虎の門曙莊に催しました。大西，今村，大久保，古屋，秋山の入營される五君をむかへ在京會員の大多數が出席痛飲歡談夜の更けるのを忘れました。入營を二日先にひかへて大久保，今村の二君は未だ頭の毛をのばして居ましたが，其他の三君は何れも坊主頭で大いに氣焰を上げて居たのは賴母しい限りです。

非常時の折柄各位の御健闘を祈ります。

尙地方會員の近況御通知下さい。

（1938. 1. 13日.　棚橋）

3 年 生 消 息

光陰矢の如しと嘆ずるも，今更いとうたてき事乍ら，省てやはり感慨無量ならざるを得ない。迎へ送りつした身がいつの間にか送られる身となつて了つた。

3年の間を省みると全く月並乍ら夢の如しと云ひたい。世の中に石の上にも3年と云ふ事がある。3年と云へば生れた赤ん坊が歩いて物を云ふ様になる。我々にもこの間に大分成長した。淺く，廣く，化學工業の全面に亘つて吸收した專門的智識は相當な量である。例へば新聞雜誌にデカデカと新發見，大發

明等と書きたてられて，一寸見るとその一つで我國のその方面の不利不便が全く除かれ，これさえあれば大丈夫と云ふ樣な記事に接しても實際には何れ程の價値があるものであるか等と云ふ事も多少の批判出來る程になつた。全くこれ程まで育まれた親である諸先生の御努力と御慈愛はいくら感謝しても足らぬであらう。だが更に深く考へて見るとまだまだ我々の身につけた學問なんて取るに足らぬものであると思はれる。この點未だ爲すべき事の餘り多きに驚く次第である。

三年の間に世の中も相當以上の變化があつた。之に準じて我々の周圍も大分變化した。先づ外に於ては新淺舍が出來，內に於ては我々の代になつて，代つて新しく來られた講師の先生が多々ある事，小林先生が科長を退かれて，小栗先生が代はられた事，更に武富先生の御外遊に次ぎ山本先生が永年螢雪の功空しからず學位をとられた事等々，事變の起るに及んでは名譽ある應召軍人も石川先生をトップに學生よりも野中君が出て居り，これ等を考へて見ると我が應用化學科も世の中と同樣大轉換期に遭偶してゐる樣にさえ感ずる。少しくエラさうかもしれないが世界は我々を中心として廻つてゐるとさえ考へられる。

後5ケ月もたてば我々もすつかりサラリーマンになり各々散り散りになつて了ふ。だが我が母校應化を愛する心持ちは在學時代にまさりこそすれ劣らずに進みたいと云ふ覺悟を持つてゐる。

今や我國は超非常時に直面して居り化學工業を更に發展確固たらしむる事の必要は言を俟たないが我々も亦是非この國民總動員に參加して化學報國を以つてしたいと思ふ。かゝる狀勢に際し我が應用化學科も益々健實な歩みを以つて名實共に我が化學工業界の太陽として輝かん事を切に希望して止まぬ次第である。　（裸牛生）

裸牛居士の感想に次で三年生の消息を報告いたします。

應化の學生になつてからザワザワしてゐる中にもうあと一ケ月有るかなしか光陰矢の如しと冒頭に述べましたがそのスピードの早さと云ふよりも寧ろ僕等が時間的の觀念にかけてゐたのでせうか，それとも云ひ直せば過去の一つ一つの細い經過がハッキリと思ひ出せないためでせうか，ともかく今になつて見て月日の經つのはこんなに早いものかと唯驚くばかりです。

そろそろ卒論の方も山が見えある者等はもう書き出さうかなどゝ云つてゐます。3年生の一同は新しきものへの探究と，今まで先賢により進められたレンヂよりも更にワンステップを進める事の樂しさがこみ上げ，從來とは異つて「研究」と銘打たれ，氣持ちも引き緊り，張り切つて居ります。さてこの研究の題目を御紹介致します。

1. 飯島君　高純度金屬マンガンの電解的製造
2. 井上君　Researches on Rhodamines.
3. 伊藤君　酒精醱酵に及ぼすコロイドの影響
4. 原田君　航空ガソリンに關する研究
5. 似鳥君　珪酸蠻土石灰三成分系よりアルカリによるアルミナの抽出
6. 殿井君　プロピオン酸とアミンとの縮合物に就いて
7. 春日井君　MgO の熔融鹽に對する溶解度其の他
8. 太刀川君　大豆油の分析
9. 中村君　パテントブリユウ型酸性トリフエニールメタン染料の合成に就て
10. 植田君　纖維素の光化學的變化
11. 熊澤君　羊毛の組織的成分への分解
12. 山田君　蟻酸鹽法による大豆油の水素添加
13. 山中君　$(NH_4)_2SO_4-H_3PO_4-H_2O$ 系の平衡
14. 松橋君　九州產鬼萱よりパルプの製造に關する研究
15. 藤田君　纖維素の光化學變化　I 硝酸纖維素　II 醋酸纖維素
16. 淺野君　重合による潤滑油及び樹脂の製造
17. 三橋君　酸性硫燐安の物理化學的性質に就て
18. 篠原(功)君　アムモニアの酸化
19. 設樂君　高オクタン價航空機燃料としての Isopropylether の研究
20. 東海林君　$SiO_2-CaO-Al_2O_3-Fe_2O_3$ 系に於ける $CaO-Al_2O_3-Fe_2O_3$ 系の X 線的研究
21. 篠原(武)君　$CaO-SiO_2$ 及 $CaO-SiO_2-Fe_2O_3$ 系の X 線的研究
22. 勝屋君　高オクタン價ガソリンの製造研究
23. 鈴木君　鉛極を用ひて電壓滴定に依る鉛の分析　（以上名簿の順による）

以上の題目の下で目下火花を散らし水泳ならば水煙をあげラストスパート物凄くといつた形，しかしあくまでも冷靜で過去のデーターを省みつゝ恰も皇軍の猛進撃を思はせるものがあります。

目下東京は御承知の通りのシベリヤ崩れの寒波の襲來で風邪の大流行，3年の者でも心臟ばかり强く

ても風邪にはやられる連中もゐますが，アスピリンの 0.25g やそれで逃げない頑敵はフエナセチン，さては拘縻發カフエイン，アンチピリンの野砲重砲の猛撃で追ひまくり，一同ホームストレツチの爆進です。不幸日頃あんまり丈夫なのでついに强敵遲紅熱で井上君がノサれましたがカウントを數へるに到らず立ち上り大して休まず全快せられました。唯殘念なのは加藤一男君で目下病床にあつて藥餌に親しんで居られます。クラスの者も寸暇を裂いて見舞を爲し，一日も早く全快せられ躍進日本の一原動力と爲られん事を祈つてゐます。

さて就職の狀態は如何と云ふにこの方はきはめて好調でありまして，クラス全員すでに　キマリの狀態です。これも小栗科長並びに諸先生諸先輩の御努力の結晶と有難く末事乍ら感謝してゐる次第であります。學生消息の終りに臨み，小栗科長並びに諸先生の御健康を祈ると共に，賜りし恩惠を深く深く感謝いたします。猶別册の消息欄に多大の御援助を賜はつた秋山先生，日野西氏，武井氏に厚く感謝の意を捧げます。(斗牛生)

追　記

今回我々のクラス會名がクロコンクラブと決定しました。愈々この名の下に4月から先輩(？)の仲間に入ります。よろしく御願ひします。

さてクロコンなる名稱は餘り散文的で詩情に乏しいのですが，この名の決定するに致る迄を有りの儘述べて見ますと大體次の如くです。話せば長い事乍ら，10月以來講義はなくなりクラス一同が各研究室にバラバラに分散して，所謂マトマリがなくなつたので，11月以來，我々は午餐會なる名の下に月2回集まつて食事をする事になりました。尤も中には實驗の都合上出席出來ぬ人もありましたが大體 80% 位が集まり，種々相談等を行ふわけです。さて1月のこの席上，卒業も迫つたので會名を作らうではないかと云ふ案か出，各自好きな名を選んで投票し，それを次回の會に於て審議したいと云ふ事になり，投票箱等も用意したのですが，さて開けてびつくりたつた4票しかないのです。何うも餘り短時間で好い名が浮んで來なかつたらしいのです。然もこの四つともピンと來ないと云ふわけで贊成者少く，又思案と云ふわけです。「非常時だから○○會とは如何？」「だつてそれぢあ會の時表へ名前を出すのに恥しいよ」「さうかなあ」と云ふわけで，多少沸騰したのですが最後に出たのがこのクロコンです。これは1年の時以來ボート大會に必ずクロコンクルーなるものが出場して居ますので，これより來たわけで，クロコンとは御承知の如く我々の日用品の一つでありまして，特に噂によるとU先生が「3年生はクロコンを使ひ過ぎて困る」と申されたとかで益々適はしいと云ふ事になりました。且クロコンとあるからは會としては均合はぬ，均合はぬは不緣の元と云ふわけで，然らばクラブと附け樣と云ふ事になりました。元來クラス會名にクラブなんてのは未だ聞かざる處で，これでも新機軸の積りださうです。

クロコンとは御承知の如く硫酸に重クロム酸加里をブチ込んだものであります。諸君よ，非常時の折柄，クロコンを大切に使つて下さい。又諸先生並に在學生諸君よ，實驗室でクロコンを使ふ時は我々の事を思ひ出して下さい。

2　年　消　息

我早稲田應用化學も多幸なる化學日本の前哨線としていよいよ躍進途上にあらはれて來た事は欣快の至りである。早稲田に學びてより6年玆に昭和 13 年の新春を迎へ全く感新なものがある。

應化先輩並びに學生に依つて多年鶴首せられてゐた待望の博士出現の喜びを諸君と共に此の紙上に御說致し度い。殊に山本博士が石油方面に御造詣が深い事は，我貧弱なる燃料問題自給自足に寄與する所多からんと思ふ。之が機會となり，觸媒となり，第二，第三の博士が助教授の諸先生中から出現することもあながち應化生でなくとも明白な事實である。此の山本博士を迎へた喜びの上に今度我等は，歐洲最新化學の見學より歸朝せられた武富教授の講義に接するは又學生として欣喜に耐へない。かく考へると全く我等應化學生は幸福そのもの樣に考へられる實際そう考へることが妥當かもしれぬ。而し「禍福はあざなへる繩の如く」とかの喩の如く禍あつての福である。今應化の暗流について考へてみたい。

今度日本化學戰線の第一線に雄飛せんとする新卒業生を送ることは應化全體として嬉しきことである。此所に前途を祝福してやまない。而し現在3年の諸君は如何なる關係かは知らぬが他學年生よりの認識が少い樣に思はれる。應化に3年間も學びながら他學年の人に，名前も知られず默々として卒業される人があれば，應化の如く少人數の同目に向つて進んでゐるものゝ間では，餘り自慢な話でない。應化全體が親睦なる大家族主義に向つて邁進せんことを切望してやまない。我2年生は此の親睦にかけてはクラスの空氣は良好である。遊びと來た時には，

不賛成者は殆んどまれである。皆んな氣持よく一團となつて過ごして行けることを小生は内心より喜んでゐる。外のクラスに於ても各クラス毎には皆和やかなことと推察する。而し應化全體の親睦なるものは今迄餘りかへりみられなかつたらしい。

今度の應化運動部なるものもかゝる見地よりの目的で作られたことと思ふ。而しかゝることも仕事が全般的なことになると，統一と運用に事をかき破綻をきたさんことを心配する次第である。又機械的に仕事を遂行すると云ふ所は容易なことであるが學生相互の親睦といふ，圓滑なる活用が眞に期待されるには更に一試練が必要でないかと思ふ。その自重と健全なる生育を望んでやまない。

而し此の運動部の全機能が遺憾なく發揮出來れば我等應化全體は，グランドに實驗室に一階より五階までいよいよ親しみが日增しにまして行くことを確信する。

一度目を轉じて先生對學生間の親睦狀態を見るに我應化はその親密さに於て斷然他學部に比較して一段と我等の譽りとする所である。而し今一步といふ感が無いでもない。最近私は次の樣なことを耳にした。卒業間際になつて，やつと先生に名前と顏を認められた由，最も此の人が工經の人であつたからかもしれぬが，本人も自分の及ばざるを悔ると共に悲しんでゐた。こんなことは我名譽ある應化にとつて不出來なことであつた。此所に參考の爲に帝大應化と運動試合に行つた時の對話をはさんで彼地に於ける一端を示さう。

教師「君此の頃一寸も實驗室へ顏を出さぬでないか，少くとも23日迄は已は覺えてゐる。」

學生頭をかきながら一寸てれくさそうにして，先生に一寸過り，さて

學生「でも先生は最後にあはてなかつたら良いと云はれたでないすか」

教師「それもそうだ」

で皆大笑のうちに話は終つた。かゝる所は教室で云へば御說教じみて來る，かゝる如くグランドで云へば單なる話ですむ。之で此の學生も氣持よく先生に接することが出來たことと思ふ，學生は先生を尊敬し敬慕し，先生は學生をよくいたはつてゐる。我々一同は目のあたり，全く和やかな感情の交索をみせつけられて興味を感じた。我早稻田も決して現在が惡いといふのではない，此爲の運動部なるものの下に於ても教師學生間の親密爲に拍車を加へられんことを祈る。

最後に我應化寫眞研究會もどうやらスランプの船にのりかけつゝあるの感がある。無邪氣な素直な寫眞を作るといふことは寫眞道としてほめられるかも知れぬが，坊ちやん道樂的な寫眞は，我應化寫眞會の目的でない樣に思はれる，會長山本博士に對しても今度は博士の面目上いさゝかよくない役員及新人會員の奮闘を望んでやまない。

暗流はまだまだ流れてゐるかも知れぬ。我々は分析が得意である。次々と後人により暗流が分析され又其の中和劑を發見されることを豫想しつゝ此の筆を置く。

一　年　消　息

歡迎會の記憶の新たなる內に，夏すぎ秋愁を胸に止める暇なく多到來して，一年の終るのも後一ケ月となつた。我々も漸く大學氣分に慣れた樣に思はれる。我々仲間の發展振りは既報の通りで，それも漸く實のつた樣に思はれます。

顧みるに，櫻花薰る頃，我等四十名が新校舍に學んでより，一年を經過せざる間に，岩崎稻葉兩君の休學者を出し，誠に殘念に堪へないのであります。我々一同も兩君の回愈を祈つてやまないのです。

我々の實驗も，宇野先生の化學分析は前期に終り十月からの秋山先生の實驗も十二月で濟んで，今山本先生の工業分析をやつて居ります。我々の實驗姿もどうやら一人前，器具の取扱ひにも稍々慣れた樣です。

今年はスキーを遠慮しやうかといふ說も仲間にあつて，少く暇取つてゐたので，組全體としての計畫は成立はしなかつたが，非常時であるので，我々若人は益々健康を增進しなければいけないといふので各自友達同志で計畫を立て，夫々スキー旅行をやつた樣です。

最後に野中晴彥君の出征に就てお知らせします。同君は四月以來我々と共に聽講生として學んで來られたのでありますが，本年一月二十日召集令を受けられたのであります。我々應化生の中から出す初めての出征軍人でありますので，心からお送りしたいといふので，一月二十二日（土）懷かしい五〇二教室で送別會を催したのであります。出席は我々同級生二年三年生の方，富井，宇野，秋山諸先生の御出席があり，激勵の辭等があり，盛大に終了致しました。翌二十三日午後十時半東京驛發の列車で，應化生，舊友（東京高等工藝）の萬歲に送られ，元氣に原隊に向はれました。我々も野中君の武運長久を祈

つてやみません。　（AM生）

應化寫眞研究會

應化寫眞研究會が出來てから約一年半，その間に拙いながらも作品を各三十點宛位，數回展覽會も開き春休みには寫眞化學的實驗を行つて應化寫眞研究會らしい一面をも見せて居る。亦昨年は遂に寫眞用四ッ切の額を三十枚程買入れる等と生れてから一年半そこいらで而も會員の人數といつてもそう大した數でもないのにと考へると一寸ウヌボレても見たくなりますが，此の盛況は皆三年の人々（此の文が出る頃には新卒業生として出て行かれる方々）の御熱心なる努力による所なのでありますから吾々としてはウヌボレることなんか許される所か，此から增々此の寫眞研究會を巧く守つて行き發展させねばならぬと考へられます。

此の寫眞研究會は應化の者が集つて造つて居る會であるから風景や女の顔もよいが應化らしい特色を出した畫を展覽會等に出してはといつて風な聲もありますが，中々我々のやうな者には特色のある寫眞は造れませんし（俺れに造れるといふ方もありましやうが今は大體に於ての事ですから俺は例外だよと一段高い所から見下して居て下さい）普通のものも只通り一邊に引伸すといつた具合で仕上等も首をひねるものが多い有樣ですから今後は技術的方面を少く研究して見たらとも考へられます。今迄には宮本先輩の關係からオリエンタルの方に來て頂いて寫眞の技術的の事等を話してもらひましたが今後はこういふ會をもう少し行つたらと考へて居ますから徐々に應化的寫眞も出來る事と考へられます。

今迄寫眞研究會のものとして photographic journal を取つて居ましたが讀む人もあまりないやうなのと會計の方が大分淋しくなりとても買へさうにないものですから本年は中止致しました。亦MQも買つてはありますがMQは無くなつても金は入つてないのでいさゝかがつかりして居ます。MQを使ふ方は成可く（ぢやない必ず）會費丈でも拂つておいて下さい。

尙四月から日野西先生が歸つて來られる筈ですからその際は日野西先生を中心とした研究發表のやうなものや，昨年は雨天で失敗しましたが撮影ピクニックのやうなものを行ひたいと考へて居ます。

展覽會も今迄のは毎日三十點許りも集つては居りますが中には一人の人が 4〜5 點も出すといつた有樣で（そうしないと數が集らないためだつたのです）出品する人は毎回同じやうな人が十人位だといふ具合でしたから今後は年一回位にしてしまひ充實したあまり恥しくないやうな展覽會にしたいと考へます。試案ではありますがその際に作品の數が多くなれば三日位宛に作品を並べ變へたりしても良いと考へて居ます。亦其の時に應化方面の特色のある寫眞（吾々には難しいのは分り切つて居ますが難しいからとて放つておくのは寫眞會の自殺も同じですから出來るだけやつて見たいものと考へます）と一般の所謂藝術寫眞とを別けて二回に並べてもよいと思ひます。こんな風に考へて居ますから會員の方もどうかその御積りで居て下さい。

それから今度應化内に體育部が出來ましたが此の方面とも手を組んで殘り少くなつた學生生活を愉快に亦收獲の多いものとして行きたいと思ひます。

本寫眞研究會は丁度新校舍と一緒に出來たものであり，應用化學科に籍を置くものに取つては忘れられないものゝ一つとも考へられますが此のやうな意味からでも新校舍と同樣に何時迄も發展を續けて行くやう會員諸君は勿論先輩や諸先生方もよろしく御指導下さるやう御願致します。13.01.23

早帝應化野球及び庭球戰記

野球，一恒例により拾一月拾三日晩秋の哲學堂グランドに帝大生を招待し懇親野球試合を行つた。

豫定の十時半より遲れること三十分，武井先生の始球により帝大先攻により試合は開始されたが帝大側は春の元氣なく，我が中島（一年）投手のスピード有るカーブに翻弄され一回より九回に至るまで安打らしきもの無く三壘を踏む者僅かに二三を數へるのみにして得點に至らず，これに反して我が軍は前戰の雪辱とばかり敵投手の剛球を適宜に打ち，或は亂れるに乘じて四球に出壘し 1 回に 2 點，7 回に 1 點，8 回に 2 點を得，結局 **5A〜0 にて快勝す。**

試合は一時間餘にて終了せし爲次に兩軍混合試合を行ふ紅白各拾四五人の珍野球で武井先生の名ピッチアーぶりなど有り和氣藹々裡に試合を終つた。

五時より早稲田精養軒ベーカリーにて，例により懇親茶話會を開く，集る者兩軍合はせて約四十名，茶菓を共にして個人紹介の後，學校のことなど胸を開ひて愉快に話し會つて，今後野球に限らず各方面で親睦し合ふことを約し盛會裡に六時過ぎ散會する。

尙この會合に對し小栗科長より多大の御寄附が有つた，御厚意に感謝する。

庭球，一野球懇親會の時の話しが急速に具體化し拾一月二十七日帝大側より庭球試合の招待を受ける通知の關係上我が軍のメンバー揃わず，最強メンバーを編成し得なかつたが大いに張り切つて帝大コートに出陣した。

試合は帝大，大島，龜山，永井諸先生の御立合の下に開始されたが，如何せん帝大軍は高校の選手など揃へ野球の不名譽を一擧に回復せんとの意氣物すごく結局，シングルス，ダブルス合はせ14—1の大差で第一回の對抗庭球戰を讓つた。

試合終つて本郷明治製菓にて懇親茶話會を開いていたゞき前記諸先生も全部出席され互に打ちとけて話し合ひ某先生などは來年からは先生同志でも野球や，庭球の試合など行ひたい提議されたりして我々心から感謝名殘を惜んで六時散會した。

色々の御都合で我が方の先生が一人も御出席されなかつたのは非常に殘念であつた。

試合を始めてから四年になる野球にせよ又今年から始められた庭球にせよ試合により勝負を定めると云ふことは決して，その本義ではなく，それらを通じ平常殆ど交渉を持た無い兩校の應化の學生と學生が又は先生と親しみを增すと云ふのが目的であることを，わすれず試合するにも堂々と又見物するにも下らない彌次などは絕對に戒めるべきと思ふ。

又教室に於かれましても，出來るだけ多くの先生方が出席下さいまして，此等の意義有る會合をより盛んにされんことを切にお願致しておきます。

（靑寅生）